

テント一週一文 (に)

—— 西山進さんの「漫画しんぶん」

(承前)

村長さんが渡してくれたプルサーマルの危険性についての講演会まとめを読んでいたら、「こんにちは」と少し年とった女の人が入って来た。顔を上げたら、「あら、村長さんは? 」と聞く。村長さんの姿が見えない。知らないうちにいなくなっているの、私は「どこかに行かれたんじゃないですか」といい加減に返答した。言いながらも、入って来た女の方は見たことのある顔なので、もう少し丁寧に答えなければならなかったナと思った。でも後の祭りだった。

女の方は私の動揺には気付かずに「こんな記事があったわ」とプリントアウトした紙を見せてくれた。一つは <http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2017060590070737.html>、いま一つには <https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170605-00000062-asahi-soci> の記事だった。

「私は今プルサーマルのことで頭がいっぱいなので、その記事の説明をしていただけませんか? 」

「少しだけ切り替えられるでしょう」

「切り替えられるんですが、まとめることは出来ないんですよ」

「あ、そう」とこの人が記事をまとめてくれた。

政府は、国際的な組織犯罪を防ぐための条約締結には共謀罪が必要だ、と言っているのだけれど、国連で各国でのその種の法律のガイドラインを作成したニコル・パッサスさんという法律学者が「法律は金銭的、物質的な利益を対象とするべきであって、日本の共謀罪はおかしい」と言っている、というのが趣旨。

「それだけじゃないのよ、この記事は! 」

「怒ってますね、何ですか? 」

「共謀罪で日本は人権後進国になるのは確実なんだけど、その人は非民主的な国では政府への抗議活動を犯罪とみなす場合があるので主義主張に基づく犯罪は共謀罪の対象にしてはいけないって言ってるのよ。共謀罪で日本は国際水準から見て人権後進国、非民主的な国の仲間入りをするのよ! 」

「反原発運動は政府への抗議活動ですか? 」

「政府が反原発政策を推進していたら抗議行動ではないし、原発推進政策を採用していたら抗議行動になるわ」

「権力が決めるってことですか? 」

「あなたは時々難しいことを言うのね」

エッ? こんな風に言うってことはこの人は私と何かのことでしゃべったことがあるのかな? さっきと同じように気付かないフリをしておこう。

「天国に行くか、地獄に行くかは神様が決める、この世のことは権力が決めるって聞いたことがあるんですよ。そういうことかと思って。もう一つの記事はどうですか? 」

国際ペンクラブ会長が共謀罪反対の声明を出した、という趣旨。

「この声明は、共謀法は国民の基本的な自由を深く侵害することになる、として反対しているのよ。日本ペンクラブはかなり前、今年2月に反対声明を出しているんだけど」

「さっきのは国連、今度は国際ペンクラブ。国際水準と言っていいのかどうか判らないけれど、共謀罪は国際的な識者からは疑問視されているというわけですか」

「疑問視じゃないわよ。危険視よ。日本は非民主的な国に数えられたり、表現の自由やプライバシーが保障されない国になるのよ」

「日本は美しい国になるんじゃないんですか？」

「今のトップは日本を「嗤われる国」にしているのよ」

「それはそうと手に持っている紙は何ですか？」

「これはね西山進さんの漫画しんぶん。読む？」と彼女は絵と文章が混ざっている紙を渡してくれた。

「西山進？ 知っています、知ってます」

「ここで会ったんじゃない？」

「ここで会ったことはないですが、昨年か一昨年の平和の展覧会で福岡市が、この人の絵が展示されるのなら後援を取り消す、ととんでもないことをしてニュースになった人でしょう」

「そうよ。よく覚えているじゃない。あなたは頭は悪くはないわ」

こんなことを平気で私に言うってことは相当親しく話したことがあるのかな～。初対面のフリ。「もしかしたらここのテントで会ったのかもしれない」

「きっとそうだわ」

「いや、ここじゃない。どこだったかな。やっぱり俺は頭が悪い。それはそうと、西山さんの説明はしてくれないんですか」

「これを読めば分るわよ」

「そうですか。でもこれには共謀罪のことを書いているんじゃないですか。原発とかじゃなくて」

「共謀罪は泥棒や詐欺をしたから逮捕するっていう風な縛り方じゃないのよ。これこれのことをしようと相談して、もう少し突っ込んだ段階に入ったから逮捕する、という縛り方なのよ」

「「これこれ」の中にテントも入っているんですか。テントを毎日立てる相談をしたから逮捕って」

「現在はこのテントは合法的に設置しているんだけど、捜査当局が、ということは県警だけどね、テントの合法性に疑いがあるし、テントについての計画などが組織的に行われていると判断すれば、テントを毎日立てるのも共謀罪の対象にはなるわ。ほらここに」と、村長さんは西山新聞の絵を指して「共謀罪に関連して、西山さんが「原発いらない」とか原発反対運動とかも書いてあるでしょう」と少しだけ説明らしき説明をしてくれた。

「共謀罪の対象になるかもしれないとなったらテントに来る人はいなくなるじゃ

ないですか」

「という風にしっかりした考えや主義主張に立った市民運動にも大きな影響があるのよ、共謀罪は」

「マ、西山さんの新聞を読ませてください」 (以下次号)

(文責 栗山次郎) 2017年6月12日公開

西山進さんの「[漫画しんぶん NO.97](#)」(2017年2月刊)

西山進さんからの[便り 1](#)

西山進さんからの[便り 2](#)